

# 大支援研ニュース

特別支援教育

平成20年11月17日発行  
大阪府支援教育研究会  
会長 井崎 敏彦  
(豊中市立第八中学校)

12月号は  
12月中旬  
発行予定

ホームページもご覧ください。<http://fuyouken.visithp.jp/>  
10月号は都合で発行延期し、11月号と合わせて合併号としました。

ニュースや本会活動への問い合わせ・ご意見は、Mailにて件名に「大支援研問合せ」など「大支援研」を入れてください。

**jimukyoku07@fuyouken.visithp.jp**

アドレスをテキストで載せるとスパムメールが多数届いてしまうので、画像で張り付けてあります。

お手数ですが、手入力をお願いします。

**大阪府支援研役員総会予定** 本部・支部役員の方はご予約ください。

第3回平成21年 1月15日(木)午後3時～5時 **アウイーナ大阪 信貴の間**

## 冬季研修会のご案内 **二次案内添付**

平成21年(2009年) 1月6日(火)午後2時～4時(1時30分 受付開始)

八尾市文化会館プリズムホール 研修室・会議室(4階)

☆以下の4つの分科会を実施いたします。

○性教育 大橋一予氏 (大阪自閉症協会相談役) 中村昭代氏 (大阪手をつなぐ育成会 相談支援専門員)

○FBM(ファシリテーション・ボール・メソッド) 大島昇氏、河野健三氏 (大阪教育大学附属特別支援学校教諭)

○臨床動作法 柴田泰之氏 (大阪市立西淀川養護学校教諭)

○個別の指導計画、個別の教育支援計画 伊丹昌一氏 (大阪府教育センター主任指導主事)

詳細や申し込み方法は案内を参照ください。電子メールでの申し込みが必要です

以下のページでの申し込みもできます。定員がありますので、お早く。

<http://fuyouken.visithp.jp/postmailkensyu/postmail.html>

## 冬季教育講演会のご案内 **詳細案内添付**

平成21年(2009年) 1月17日(土) 午後2時～4時 たかつガーデン たかつ西(8階)

テーマ[仮題] 「障害者の自立と就労を進めるためには」 ～(株)かんでんエルハートの取り組みから～

株式会社かんでんエルハート参与 とだ ゆきひこ 戸田 幸彦 氏

申し込みはFAXをお願いします。(案内参照)

<講師紹介>永年、関西電力(株)での勤務の後、「(株)かんでんエルハート(重度障害者多数雇用事業所)」設立に携わり、平成5年12月、代表取締役役に就任、顧問を経て参与。現在は、この会社を軌道に乗せた体験を礎に障害者への正しい理解・認識と雇用を求めて広く講演活動する傍ら複数の社会福祉法人やNPOの理事・評議員をつとめ、障害者の自立と社会参加に努めている。独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構の広報誌「働く広場」(障害者と雇用)の編集委員もつとめている。家庭にあっては、ダウン症による知的障害に加え目も不自由、言葉も出ない重度重複障害を持つ子どもの親でもある。

## 他団体記事紹介（以下は大支援研以外の団体が主催の講演会・研修です。）

本研究会で紹介していますが、問い合わせ等は当該団体をお願いします。

### 実践記録論文募集 大阪特別支援教育推進連盟 **募集要項は先月号で添付(HPIにもあります。)**

障害児(者)の福祉・教育に携わる方々の実践記録論文を募集いたします。

内容 福祉施設・学校等で障害児(者)と共に歩んでいる方々の日ごろの実践のまとめ

A4版で本文を 5000 字程度(ワープロ可)写真、グラフ、図等の挿

入も可(要項をご覧ください)

締切り 平成21年1月16日(金)

提出先 大阪特別支援教育推進連盟事務局 (大阪府立豊中支援学校内)

### 「ディスレクシア(読み書き困難)・OCD = 贈りもの」講師 南雲 明彦氏

講座とオープンミーティング **案内添付**

11月22日(土) 午後1時30分～4時45分

ひとまち交流館(京都市下京区河原町通り五条下る東側)3階 第5会議室

主催 子どもの強迫(OCD)友の会(京都・大阪で活動する当事者・家族のセルフヘルプグループ)

強迫性障害と発達障害をあわせもつ当事者の方を招き、貴重なお話をお聴きします。発達に独特の傾向性があり、強迫症状とも格闘の毎日。生きづらさをかかえながら、ありのままの姿で当事者の声を発信し、自分らしく社会参加する日々の体験談をお聴きください。

**下記ホームページに詳細案内と申し込み方法があります。**参加費 500 円 講座 90 名まで

<http://homepage3.nifty.com/reno/index.html>

### 第20回 大阪ムーブメント教育 研究会のご案内 **案内・申し込みを添付**

第20回では、日本ムーブメント教育・療法協会会長であり、ムーブメント教育第一人者であります小林芳文先生(横浜国立大学教授)をお招きして、直接ご指導をいただきます。

平成20年12月20日(土) 14:00～16:30 大阪教育大学 天王寺キャンパス ミレニアムホール

講師 : 小林芳文先生 横浜国立大学教授 日本ムーブメント教育・療育協会会長

大阪ムーブメント教育研究会 (JAMET 大阪支部)

代表 金川朋子 (大阪教育大学附属特別支援学校)

参加費 : 2,000 円 (当日 徴収いたします)

### 第4回 e-AT 機器体験会のお知らせ **詳細は添付記事**

平成20年12月13日(土)午後2時～午後4時30分(受付午後1時半より) 於大阪府立茨木支援学校  
宝探しゲームの他、e-AT 機器・パソコン入力支援機器やワンクリックソフトの展示も予定しています。実際に e-AT 機器を試してみたい児童・生徒の他、今後の e-AT 機器の活用の参考としたい教員の参加も歓迎いたします。☆対象、三島ブロック小・中学校、大阪府立支援学校の児童・生徒と保護者、介助者・教員

費用 300円(保険料含む)

平成20年(2008年)11月14日

各 学 校 長 様  
支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会  
会 長 井 崎 敏 彦

## 冬 季 研 修 会 の ご 案 内 (二次案内)

晩秋の候、先生方もご活躍のことと存じます。

9月に一次案内を出しました大阪府支援教育研修会研修部主催による冬季研修会を以下の要項で実施いたします。ふるってご参加されることお願いいたします。

### 記

- ① 日 時 平成21年(2009年) 1月6日(火)  
午後2時～4時(1時30分 受付開始)
- ② 場 所 八尾市文化会館プリズムホール 研修室・会議室(4階)  
〒581-0803 八尾市光町2-40 TEL (072)924-5111  
(近鉄大阪線 八尾駅 東300m)
- ③ 内 容 4つの分科会を実施いたします。内容は別紙をご参照ください。  
先着順受付とします。定員を超えお断りする場合ご連絡いたします。
- ◎ FBMの基礎と実技 (定員30名)
  - ◎ 動作法の基礎と実技 (定員30名)
  - ◎ 性教育 (定員55名)
  - ◎ 個別の指導計画、個別の教育支援計画 (定員80名)
- ④ 申し込み方法 電子メールでの申し込みをお願いします。  
必ず、件名を「大支援研研修申し込み」として下さい。  
以下の項目を明記して、下記アドレスまでご送信ください。
- ①氏名 ②所属校 ③参加希望分科会
  - ④連絡先(メールまたは電話・FAX)
  - ⑤研修内容についてのご質問やご要望がありましたらご記入ください
- メール送信先 kensyu※fyouken.visithp.jp  
(※のところを@に直してご入力ください)
- ☆ 大支援研のHPからも申し込みできます。  
<http://fyouken.visithp.jp/postmailkensyu/postmail.html>
- ⑤ 問い合わせ先 大阪府支援教育研究会 書記(研修部担当) 佐藤正幸  
摂津市立第四中学校 TEL 06-6349-6181  
FAX 06-6349-6184

# 分 科 会

## 性教育

大橋一予 氏 (大阪自閉症協会相談役)

中村昭代 氏 (大阪手をつなぐ育成会 相談支援専門員)

性的発育・発達の支援を考える。

——学童期・思春期の課題のとりくみについて

保護者と相談支援専門員の立場から、学校における性の指導について、具体的な支援の方法を皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

## FBM (ファシリテーション・ボール・メソッド) の基礎と実技

大島 昇 氏、河野健三 氏 (大阪教育大学附属特別支援学校教諭)

FBM は、空気量を調節した柔らかいボールを使って、重力負荷の少ない状態で行うボディワークです。FBM によって、心身のリラクセーションが促されるとともに、感覚運動機能の向上・情緒の安定・対人関係の改善等の効果がもたらされます。重度の身体障がいのある子どもたちへの運動療法として実践研究され、全国に広まっている方法です。今回は、FBM の基本について、体験を通して学んでいただきたいと思っています。(運動のできる服装・靴のご用意をお願いします)

## 臨床動作法の基礎と実技

柴田泰之 氏 (大阪市立西淀川養護学校教諭)

臨床動作法は、成瀬悟策氏(九州大学名誉教授)と彼の共同研究者により開発された、からだの動きを通しこころに働きかける、わが国独自の臨床心理技法のひとつです。当初、肢体不自由児(者)の動作の改善を目的として実践・研究されてきましたが、現在では、自閉・多動児の行動改善の指導法や知的障がい児への発達支援法として、また、スポーツ選手の競技力向上や高齢者の方々の健康維持の援助法などとしても適応範囲が広がっています。

今回は、基礎的な内容を、自閉・多動児や知的障がい児へのアプローチを中心に学んでいただきたいと思っています。運動のできる服装をご用意ください。

## 個別の教育支援計画作成・個別の指導計画作成

伊丹昌一 氏 (大阪府教育センター主任指導主事)

個別の教育支援計画について、内容・作成プロセス・支援体制・連携について等の一般的な説明に加え、今後重要視される ICF(WHO による国際生活機能分類)の視点を入れた計画づくりの演習をします。

ICF 関連図を使った教育支援計画作成演習を行います。子どもの生活(支援)マップの作成・活用などについて、実際に演習を行っていくなかで理解を深めていただきたいと考えています。

平成20年(2008年)11月14日

各 学 校 長 様  
支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会  
会 長 井 崎 敏 彦

## 教 育 講 演 会 の ご 案 内

晩秋の候、先生方のご活躍のことと存じます。

さて、大阪府支援教育研修会研修部主催による教育講演会を以下の要項で実施いたします。ふるってご参加されることお願いいたします。

### 記

- (1) 日 時 平成21年(2009年) 1月17日(土)  
午後2時～4時(1時30分 受付開始)
- (2) 場 所 たかつガーデン たかつ西(8階)  
大阪市天王寺区東高津町7-11 TEL (06)6768-3911  
(近鉄大阪線上本町駅北東 約200m)  
(地下鉄谷町九丁目駅北東 約500m)
- (3) 内容および講師  
テーマ[仮題] 「障害者の自立と就労を進めるためには」  
～(株)かんでんエルハートの取組みから～

株式会社かんでんエルハート 参与 戸田<sup>とだ</sup>幸彦<sup>ゆきひこ</sup>氏

### 【講師紹介】

(株)かんでんエルハートより

永年、関西電力(株)での勤務の後、「(株)かんでんエルハート(重度障害者多数雇用事業所)」設立に携わり、平成5年12月、代表取締役役に就任、顧問を経て参与。

現在は、この会社を軌道に乗せた体験を礎に障害者への正しい理解・認識と雇用を求めて広く講演活動する傍ら複数の社会福祉法人やNPOの理事・評議員をつとめ、障害者の自立と社会参加に努めている。独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構の広報誌「働く広場」(障害者と雇用)の編集委員もつとめている。

家庭にあっては、ダウン症による知的障害に加え目も不自由、言葉も出ない重度重複障害を持つ子どもの親でもある。

(4) 申し込み方法 下記用紙にご記入の上、FAXでお申し込みください。  
もし、お申し込みのご希望に添えない場合のみ、ご連絡いたします。

(5) 申し込み及び問い合わせ先

大阪府支援教育研究会 書記（研修部担当） 佐藤正幸  
摂津市立第四中学校 TEL 06-6349-6181

FAX 06-6349-6184

.....キ.....リ.....ト.....リ.....セ.....ン.....

### 大支援研冬季教育講演会参加申し込み

申 込 用 紙 ( )月( )日	
送 信 先	摂 津 市 立 第 四 中 学 校 佐 藤 正 幸 宛
申 込 者	( )様
学 校 名	( ) (市・町・村) ( ) 学 校
FAX 番号 またはMail	( ) - ( ) - ( )
講師の方 への質問 講演会へ のご意見 など ご自由に お書き ください。	

もし、ご連絡必要な場合には、上記FAX番号に連絡させていただきます。

※ 申込を受付したことをお知らせするご案内は致しませんので、この用紙をご持参の上、当日会場へお越しく下さい。

## ディスレクシア (読み書き困難)・OCD = 贈りもの

講師 南雲 明彦 氏

学習コーチアカデミー特別研究生。ディスレクシア・OCDの当事者として啓蒙・啓発活動を行なっている。以前、公立小学校で特別支援教育の学習支援員をした経験を持つ。

日時 11月22日(土) 午後1時30分～4時45分

会場 ひとまち交流館(京都市下京区河原町五条下る東側)3階 第5会議室

内容 **講座** 発達に独特の傾向性があり、強迫症状とも格闘の毎日。当事者の声を発信し、社会参加する日々の貴重な体験談をお聴きください。(13:30~15:30)

**オープンミーティング** グループにわかれ、当事者や家族が情報交換し、思いを語り合いましょう。言いつばなし聴きつばなしの交流の場です。(15:45~16:45)

定員 講座 : 90名 オープンミーティング : 30名

参加費 500円 (講座参加者のみ当日受付で徴収・オープンミーティングは無料)

主催 子どもの強迫(OCD)友の会 《強迫症状のある当事者や家族、支援者が出会い、情報交換や啓発活動をすすめる自助グループです。京都・大阪で交流会を開いています!》

申込み 下記URLホームページ内の申込専用フォームより受け付けます。  
先着順で定員になり次第しめきります。

講座のみか、講座とオープンミーティング両方が、を選んでください

【子どもの強迫(OCD)友の会 ホームページ <http://homepage3.nifty.com/reno/> 参照】

協力団体 ONLYONEの会 / 京都 LD等発達障害親の会 たんぽぽ / 京都 ADHD親の会 クローバー

後援 京都市 福祉ボランティアセンター

問合せ 基本的にメール [ocd-fr-olive@u01.gate01.com](mailto:ocd-fr-olive@u01.gate01.com) をお願いします。

メールのご利用ができない場合のみ、下記電話番号で問合せ・申込みを受けます。

電話 080-6152-3705 (毎月第2水曜/第4火曜)

〔ディスレクシア〕  
読んだり書いたり  
が苦手! 中枢神経の機能  
障害と推定される「学  
習障害」のなかで特に  
読み書きに困難を伴う

子どもの強迫(OCD)友の会



〔OCD: 強迫性障害〕  
「不安障害」のひとつ。  
強迫的考えにとらわれ  
こだわりの強い行動を  
やり続け、生活に支障  
をきたしてしまふ。

# 第20回 大阪ムーブメント教育 研究会のご案内

大阪ムーブメント教育研究会（JAMET 大阪支部）

代 表 金川朋子（大阪教育大学附属特別支援学校）

ムーブメント教育は、1977年に横浜国立大学教授・小林芳文博士によって、初めてわが国に紹介されました。『人間尊重』の教育を基本理念として、子どもの自主性・自発性を重視し、究極的には子どもの『健康と幸福感の達成』をめざしています。この素晴らしいムーブメント教育について、ともに勉強し、日々の教育実践に反映させ、楽しいムーブメント教育を広げていきたいと考え、2005年10月から大阪でも研究会をスタートし、今回で20回目を迎えます。

第20回研究会では、日本ムーブメント教育・療法協会会長であり、ムーブメント教育第一人者であります小林芳文先生（横浜国立大学教授）をお招きして、直接ご指導をいただきます。12月の本研究会に毎年来ていただいております。貴重な研修の場となります。また、公開子ども教室も予定しており、子どもがムーブメントに取り組む様子を見ていただき、研修を深めたいと思います。

ムーブメント教育に興味をもたれている方、もっと勉強してみたいと思われる方、ぜひ参加してください。また、まだムーブメント教育を知らない方々も仲間でおられたらぜひお誘いください。

☆ 日 時 :平成20年 12月 20日(土) 14:00 ~ 16:30

☆ 会 場 :大阪教育大学 天王寺キャンパス ミレニアムホール  
(JR 環状線 寺田町駅下車 徒歩5分)



《第17回研究会の様子》

☆ 参加費 :2,000円（当日 徴収いたします）  
（学生は、1000円）

☆ 講 師 :小林芳文先生 横浜国立大学教授 日本ムーブメント教育・療法協会会長

☆ 申し込み先及び方法

:金川朋子 自宅 FAX 072-367-0713

:E-MAIL [kogorou123@nifty.com](mailto:kogorou123@nifty.com)

:下記の申込書にご記入の上FAX、もしくはメールでお申し込みください。

☆大阪ムーブメント教育研究会ホームページ <http://homepage2.nifty.com/osaka-movement/>

☆ その他

・動きやすい服装でご参加ください。

・問い合わせ等

金川朋子(大阪教育大学 附属特別支援学校)

学校TEL 06-6708-2580 学校 FAX 06-6708-2380

携帯 090-9984-1183 自宅 FAX 072-367-0713

☆ ムーブメント教育 研修会(12月20日) 参加申し込み

ご氏名(ふりがな)	所 属 名	連 絡 先

\* 複数枚必要な場合は、おそれいりますが、コピーをしてお申し込みください。



平成20年11月17日

児童生徒・保護者・教員の皆様へ

大阪府立茨木支援学校長 鈴木 博  
情報教育推進委員会

## 「第4回 e-AT 機器体験会」のご案内

日増しに寒さが加わってまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、第4回目を迎えました「e-AT 機器体験会」を下記の日程にて開催いたします。

本年も昨年に引き続き、宝探しゲームを通じていろいろな e-AT 機器に実際にふれ、機器の活用を体験していただきます。この体験を通じて機器への理解促進と活用の拡大の一助になればと考えております。

当日は宝探しゲーム以外に e-AT 機器・パソコン入力支援機器やワンクリックソフトの展示も予定しています。実際に e-AT 機器を試してみたい児童・生徒の他、今後の e-AT 機器の活用の参考としたい教員の参加も歓迎いたします。

### 記

#### 「第4回 e-AT 機器体験会」

1. 日時 平成20年12月13日(土)  
午後2時～午後4時30分(受付午後1時半より)
2. 場所 大阪府立茨木支援学校
3. 募集対象 本校児童・生徒と保護者もしくは介助者・教員  
三島ブロック小・中学校の児童・生徒と保護者もしくは介助者・教員  
大阪府立支援学校の児童・生徒と保護者もしくは介助者・教員
4. 参加費 300円(保険料含む)
5. 内容 宝探しゲーム・展示コーナー

#### 問い合わせ・申し込み先

参加申し込みは右ページ下の申込用紙にご記入の上、FAXにて送信、もしくはメールでお願いいたします。

大阪府立茨木支援学校(担当: 榎場(マキバ)、織田(オリタ))

〒567-0067 大阪府茨木市西福井4丁目5-5

Tel:072-643-6951 Fax:072-643-2776 メール: ibaraki-y@sbox.osaka-c.ed.jp

締め切り 12月8日(月)とします。

## e-AT とは

AT(アシスティブテクノロジー Assistive Technology、支援技術)とはいろいろな機器や道具を障害のある人たちが使いやすくするように支援する技術のことです。AT はパソコンなどを使うものから、身の回りの材料を使った簡単なものまで幅広いものがあります。e-AT は AT のなかでもスイッチなどを用いるものをいいます。

e-AT の技術や機器を使うことによって市販のままでは使いにくいものを使いやすく改良したりすることができます。今回の機器体験会では e-AT の技術を使ったいろいろなおもちゃや機器、パソコンなどを体験できます。

## 昨年度の様子



---

## 第 4 回 e-AT 機器体験会 参加申し込み

平成 20 年度 12 月 13 日の「第 4 回 e-AT 機器体験会」への参加申し込みをします。

学校名 ( )  
参加児童・生徒名 ( )  
保護者・介助者・教員名 ( )

ご質問や当日期待することなどがありましたら、ご自由にどうぞ